

# 個人投資家様向け会社説明会

日本ハム株式会社

2026年3月

執行役員 大西 淳



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

# はじめに① - 本日のポイント -

## ① 今期業績

- 今期：売上・利益ともに**過去最高**更新見込み

## ② 株主還元の強化

- 配当金：160円  
(3Q時点 **期初計画比+4円増配**)
- 自社株買い：今期300億円（上限）

変革

成長

株主還元

## ③ いま、当社が目指している姿

- 利益成長×安定的な**株主還元**の両立
- ニッポンハムグループは**変革期**にある

# はじめに② -株主還元-

投資家の皆様のご期待にお応えする株主還元

## ① 配当

配当金：160円

（3Q時点 期初計画比＋4円増配）

- ・ 安定配当の維持・向上
- ・ 利益成長を還元反映  
DOE（株主資本配当率）3.0%  
配当性向 40%以上

## ③ 株主優待

グループ商品または寄附

- ・ 保有株数・保有年数に応じた内容
- ・ 最大5,000円相当／年2回  
※ 詳細は第5章にてご説明

## ② 自己株式取得

今期300億円（上限）

- ・ 最適資本構成の実現
- ・ 1株価値の向上

株主還元の原資となる  
当社グループの  
**安定性（事業基盤）**  
**将来性（R&D戦略）**について  
この後ご説明します

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

# 1-1. 会社概要

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 商号      | 日本ハム株式会社                    |
| 設立      | 1949年5月30日                  |
| 本社      | 大阪市北区梅田二丁目4番9号<br>ブリーゼタワー   |
| 資本金     | 36,294百万円                   |
| 株主数     | 56,591人                     |
| グループ会社数 | 72社（国内：46社、海外：26社）          |
| 従業員数    | 単体：2,008人<br>グループ合計：25,947人 |

（※1）資本金、株主数、従業員数は2025年3月末日時点。従業員数は平均臨時雇用者数含む。

（※2）グループ会社数は2025年4月1日時点。持分法適用会社含む。



代表取締役社長

いかわ のぶひさ  
井川 伸久

## Corporate Philosophies

### 企業理念

1. わが社は、「食べる喜び」を基本のテーマとし、時代を画する文化を創造し、社会に貢献する。
2. わが社は、従業員が真の幸せと生き甲斐を求める場として存在する。

# 1-3. ニッポンハムグループのあゆみ



# 1-4. 数字で見るニッポンハムグループ

連結売上高  
(2025年3月期)



日本人の  
たんぱく質摂取量の

約6%を供給

(注) 当社取り扱い重量データおよび外部データをもとに当社にて推計

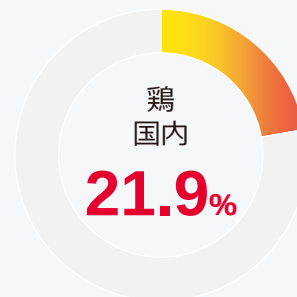
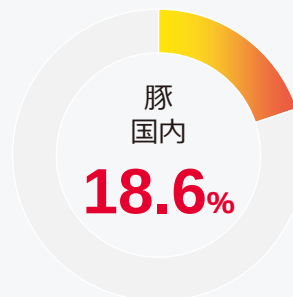
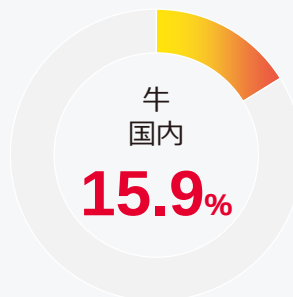
国内食肉加工業界売上  
(2025年3月期)

1位



国内の食肉市場全体シェア  
(2025年3月現在、当社調べ)

約20%



## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

## 2-1. Vision2030

今後も持続的な成長を果たすため、「Vision2030」を策定  
新たな時代で生き残るニッポンハムグループへ生まれ変わる

# たんぱく質の価値を共に創る企業へ

社会の変化、生活者の未来を見つめ、  
これまでのあたりまえや慣習にとらわれず、  
お客さま、社会、世界に、新たな価値を創り出していく。

グループ内、そして様々なパートナーの力を掛け合わせ、  
私たちが向き合ってきた、たんぱく質をはじめとする生命の恵みの可能性を  
最大限引き出していく。

ニッポンハムグループは、たんぱく質の価値を共に創る企業へ。  
私たちは、挑戦し続けます。

## 2-2. 中期経営計画2026



|           | 中期経営計画2023 |          | 中期経営計画2026 |                  |
|-----------|------------|----------|------------|------------------|
|           | 2023年3月期   | 2024年3月期 | 2025年3月期   | 2026年3月期<br>(見込) |
| 売上高 (億円)  | 12,598     | 13,034   | 13,706     | 14,400           |
| 事業利益 (億円) | 256        | 449      | 425        | 640              |
| 事業利益率     | 2.2%       | 3.5%     | 3.1%       | 4.4%             |
| ROE       | 3.4%       | 5.5%     | 5.1%       | 6.6%             |
| ROIC      | 2.4%       | 4.1%     | 3.9%       | 5.8%             |

※2026年2月に修正

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

# 3-1. 事業概要



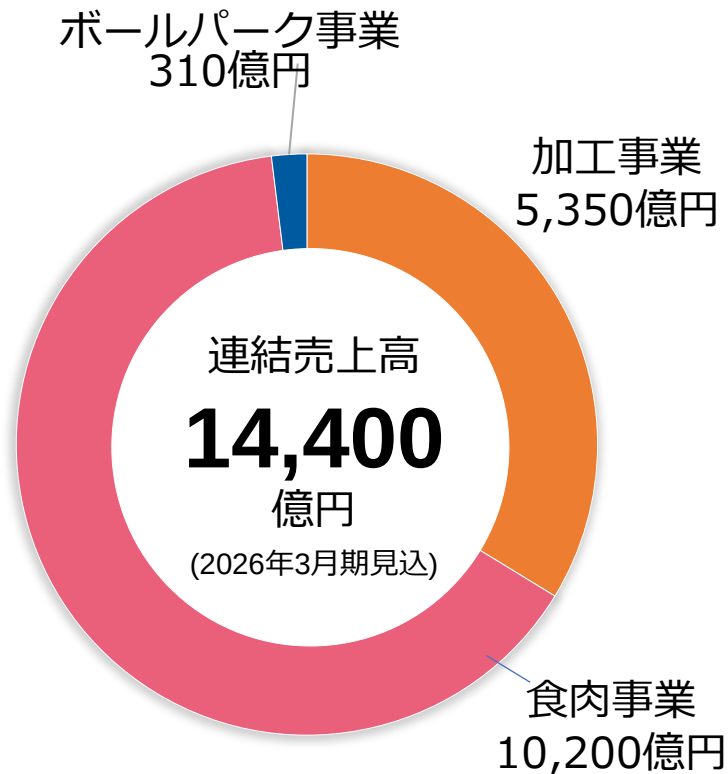
加工事業



食肉事業



ボールパーク



※数値について

・各セグメントの売上高には内部取引の金額が含まれるため、その合計は連結売上高と一致しません。

## 3-2. 加工事業

### 国内外で、多彩な商品群とヒット商品で新たな「食べる喜び」を創造

- 取扱商品：ハム・ソーセージ、加工食品、乳製品、エキス調味料等
- 「シャウエッセン®」「中華名菜®」「石窯工房®」「チキチキボーン®」等のブランド商品
- 海外では、各国へ「シャウエッセン®」を展開
- アメリカで製造・販売する「Crazy Cuisine」「Day-Lee Pride」等の商品を戦略的に展開

#### 重点ブランド



※1 マクロミルQPRデータ ウィナーカテゴリーブランド 購買金額日本No.1 2024年4月～2025年3月、全国  
※2 マクロミルQPRデータ チルドピザカテゴリーブランド 購買金額日本No.1 2024年4月～2025年3月、全国  
※3 2024年1月～12月 中華惣菜カテゴリー 購買No.1 (CODE「買いログ」調べ)

#### 2026年3月期 売上見込

売上高  
5,350  
億円



### 3-3. 食肉事業

## 自社農場から販売まで一貫して自社で手掛けるバリューチェーンを構築

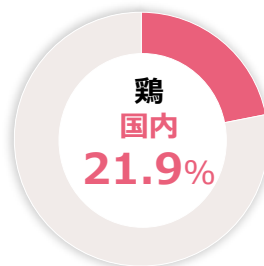
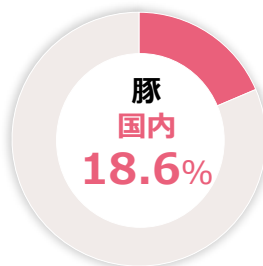
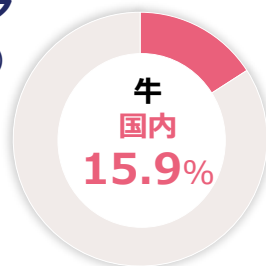
- 国内食肉販売量シェアNo.1 (2025年4月時点、日本ハム(株)調べ)
- 自社農場数：148ヶ所（国内132ヶ所、海外16ヶ所）
- 「桜姫®」「麦小町®」「大麦牛ANGUS」などのブランド食肉を展開

#### 三大ブランド



#### 食肉市場でのシェア

(2025年3月時点 当社調べ)



#### 2026年3月期 売上見込



## 3-4. ボールパーク事業

### スポーツ×エンタメによる新しい「街づくり」を推進

- ・ 北海道ボールパークFビレッジを通じて、「スポーツの価値」と「北海道の価値」を融合させたビジネスモデルによる「街づくり」を推進
- ・ 官・民・学の多岐にわたる事業者の参画、ボールパーク来場者と各種商品・サービスを提供するパートナーを結び付け、イノベーションの創出を目指す



2026年3月期 売上見込



## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

## 4-1. 業績推移及び見込値

|           | 中期経営計画2023 |          | 中期経営計画2026    |                  |
|-----------|------------|----------|---------------|------------------|
|           | 2023年3月期   | 2024年3月期 | 2025年3月期      | 2026年3月期<br>(見込) |
| 売上高 (億円)  | 12,598     | 13,034   | <b>13,706</b> | <b>14,400</b>    |
| 事業利益 (億円) | 256        | 449      | <b>425</b>    | <b>640</b>       |
| 事業利益率     | 2.2%       | 3.5%     | <b>3.1%</b>   | <b>4.4%</b>      |
| ROE       | 3.4%       | 5.5%     | <b>5.1%</b>   | <b>6.6%</b>      |
| ROIC      | 2.4%       | 4.1%     | <b>3.9%</b>   | <b>5.8%</b>      |

※2026年2月に修正

## 4-2. 各セグメントの売上高及び事業利益の見込値



たんぱく質を、もっと自由に。  
Nipponham Group Vision 2030

|        | 売上高 (億円)         |                  |     | 事業利益 (億円)        |                  |     |
|--------|------------------|------------------|-----|------------------|------------------|-----|
|        | 2025年3月期<br>通期実績 | 2026年3月期<br>通期見込 | 前期比 | 2025年3月期<br>通期実績 | 2026年3月期<br>通期見込 | 前期差 |
| 加工事業※1 | 5,425            | 5,350            | △75 | 101              | 75               | △26 |
| 食肉事業※1 | 9,568            | 10,200           | 632 | 340              | 570              | 230 |
| ボールパーク | 270              | 310              | 40  | 33               | 50               | 17  |
| 連結 ※2  | 13,706           | 14,400           | 694 | 425              | 640              | 215 |

(※1) 海外事業本部を2025年度に廃止し、加工事業本部及び食肉事業本部に組織再編を行っています。

(※2) 消去・調整等の数値を含んでいないため、各セグメントの合計値と連結売上高・事業利益は一致しません

(※3) 億円未満を四捨五入表記しているため、数値の和・差合計が一致しない場合があります。

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

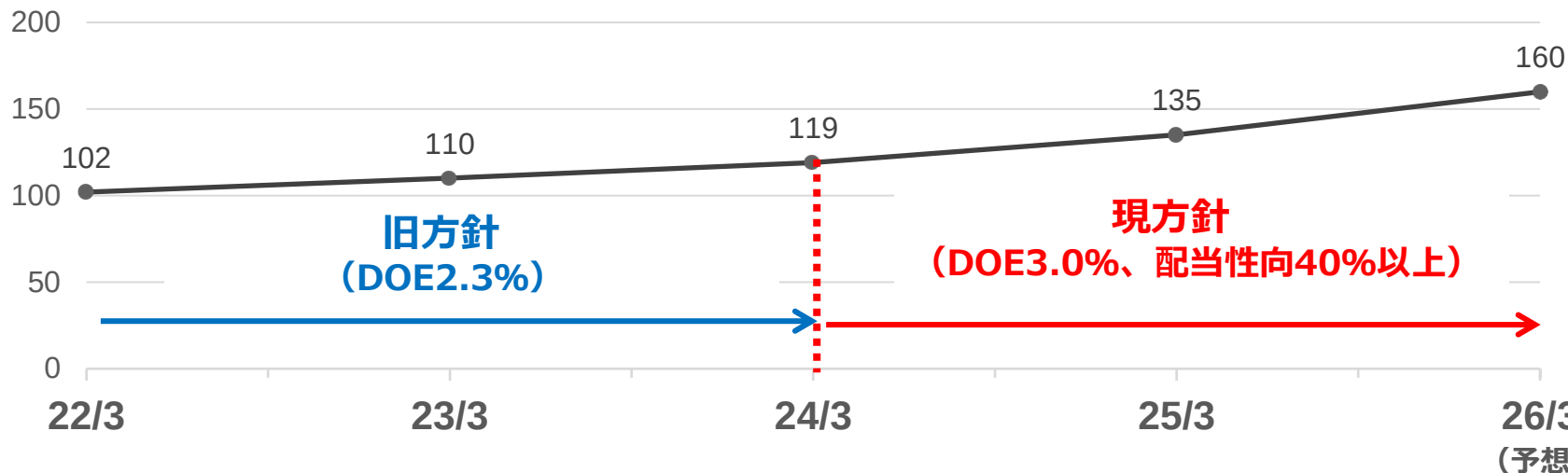
# 5-1. 配当金

方針：資本コストと最適な負債資本構成を設定したうえで、投下資本効率の向上を意識した経営  
株主還元を充実させるとともに、安定・継続的に成長させる

配当  
(3月期末の年1回)

**DOE(株主資本配当率) 3.0% ・ 配当性向40%以上を目安**  
**現金配当を安定・継続的に成長を目指す** ※中期経営計画2026期間

配当金 (円/株)



## 5-2. 株主優待

配当による直接的な利益還元を重視

| 保有株式数 | 100株以上<br>500株未満  |  | 500株以上                         |                   |
|-------|-------------------|--|--------------------------------|-------------------|
|       | 3月末<br>(9月贈呈予定)   |  | 3月末(9月贈呈予定)<br>9月末(翌年3月初旬贈呈予定) |                   |
| 基準日   |                   |  |                                |                   |
| 保有年数  | —                 |  | 5年未満                           | 5年以上              |
| ご優待品  | グループ商品または寄附       |  |                                |                   |
| 市価目安  | 1,500円相当<br>(年1回) |  | 3,000円相当<br>(年2回)              | 5,000円相当<br>(年2回) |

## 5-2. 株主優待

### 株主優待品の一例

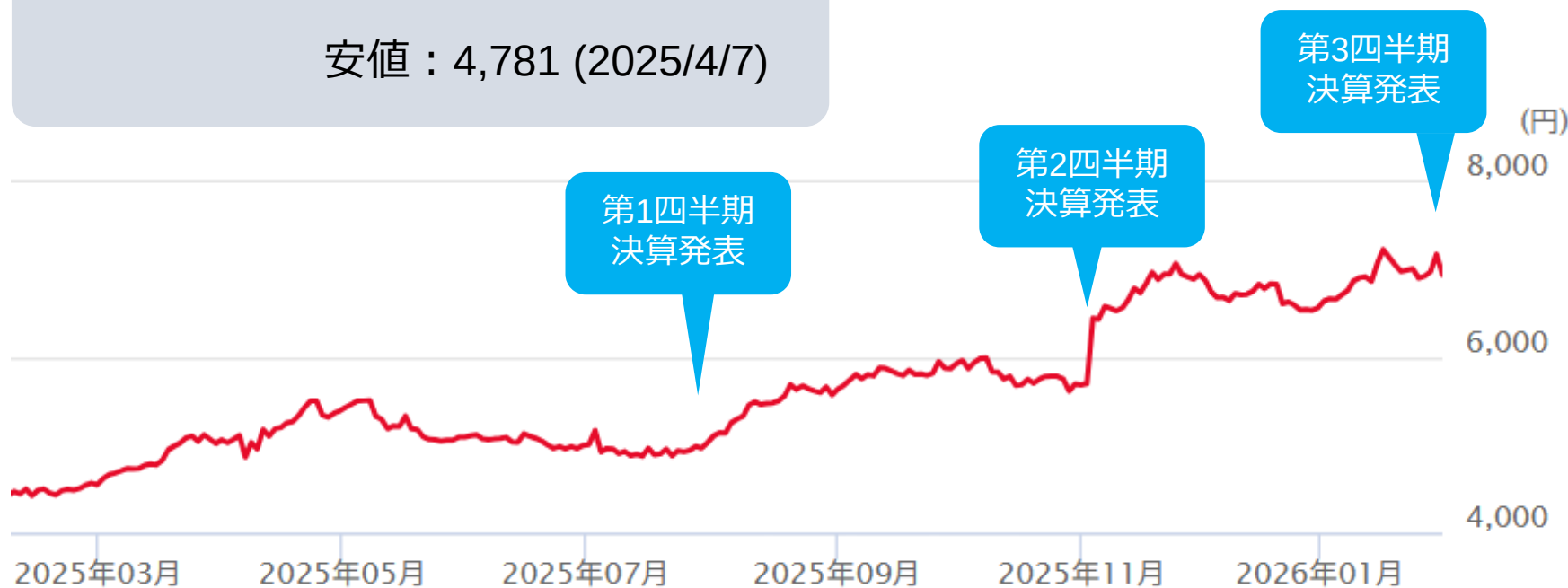


※全て当時のイメージ商品画像です。その他ご優待品の詳細につきましては、弊社ホームページをご参照ください。[https://www.nipponham.co.jp/ir/stock\\_info/yutai/](https://www.nipponham.co.jp/ir/stock_info/yutai/)

## 5-3. 株価

昨年3月以降の高値：7,247 (2026/1/20)

安値：4,781 (2025/4/7)



## 5-4. 現地参加型イベント 今期の開催実績



たんぱく質を、もっと自由に。  
Nipponham Group Vision 2030

100株以上保有株主様対象

### ニッポンハムグループ工場見学会

ニッポンハムグループ国内3拠点における  
工場見学会に抽選でご招待

|             |                      |
|-------------|----------------------|
| 8月22日(金)    | 日本ハム北海道ファクトリー(株)旭川工場 |
| 9月23日(火・祝)  | 日本ハムファクトリー(株)茨城工場    |
| 11月24日(月・祝) | 日本ハムファクトリー(株)兵庫工場    |

※実際の風景

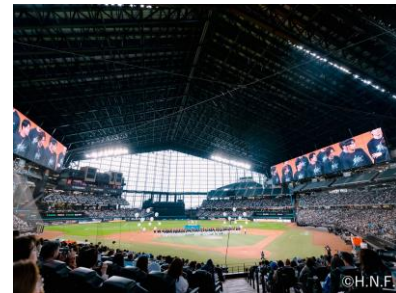


500株以上5年以上／500株以上保有株主様対象

### 北海道ボールパークFビレッジご招待

北海道日本ハムファイターズ公式戦、  
F FES 2025に抽選でご招待

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 8月23日(土)  | 北海道日本ハムファイターズ公式戦 |
| 11月22日(土) | F FES 2025       |



今後も様々な株主様向け特典やイベントを検討し、ご提供してまいります

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

# 6-1. 経営体制の変更

2026年2月2日のプレスリリースにて発表  
4月1日付で新 代表取締役社長に現 取締役副社長の前田文男が就任

日本で消費される  
たんぱく質の  
6%※を供給する  
ニッポンハム  
グループ

食のインフラを  
担うため、  
Vision2030の  
先を見据えた  
攻めの経営へ

※ 当社データおよび外部データをもとに  
当社にて推計（2019年調べ）

## 「社員が夢を持って挑戦・成長できる企業へ」

- ・ 持続的な成長の源泉は「人」
- ・ 従業員一人ひとりが夢を持ち、夢中になって挑戦と成長を楽しめる『組織風土』へ
- ・ 三現主義を基盤に、現場発の変革文化を浸透

規律ある資本配分で、  
現在の延長線上ではない未来に向けて  
成長確度を塗り替えるのが使命

たんぱく質の再定義  
プロテインの新時代

エンタメ事業の  
飛躍

海外：成長

成長戦略

構造改革

FY2026

FY2030

※2026年2月3日開示  
日本ハム株式会社  
新社長メッセージ

## 6-2. 加工事業 国内外戦略

### 国内

- ・ 主力ブランドのブラッシュアップ、拡大
- ・ 新カテゴリー創造
- ・ 新たな市場への挑戦

### 北米

#### 自社での展開による成長戦略



アメリカ

- ・ 北米3社の買収による製造能力の強化と販路の相互活用
- ・ 日本で培った開発技術を活用した新商品開発とブランド強化

### ASEAN

#### 他社との共創による拡大



タイ

- ・ 他社共創によりASEAN市場内でサプライチェーンを強化
- ・ 日本とのバリューチェーン再構築



インドネシア

- ・ 合併先バリューチェーンを活用したチャネル（CVSやFS）戦略



CPF社・日本ハム調印式

### 海外

## 6-3. 食肉事業 国内外戦略



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030

### 国内

- ・ ブランド鶏肉・豚肉生産拡大
- ・ 生産効率化
- ・ JA全農連携
  - ① 処理場施設の活用・連携
  - ② 次世代畜産業モデルの確立
  - ③ 社外調達強化
  - ④ 両社施設、ノウハウの活用
  - ⑤ 物流課題の解決

### 海外

#### 豪州

- ・ 豪州牛肉の最適市場に向けた販売戦略
- ・ 商品ミックス改善  
(フィードロット拡充、ブランド比率向上による利益の安定化)

#### 南米他

- ・ 海外拠点を通じた現地パッカーとの連携強化



## 6-4. ボールパーク事業（今後の展望）



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030

- ・ **次世代型エンターテインメント空間**として進化
- ・ 日常利用を促す**体験価値**の創出
- ・ **2028年新駅開業**を契機にさらに発展
- ・ **ファイターズ ファーム施設**を北海道へ移転
- ・ **地域連携**による中長期的な価値向上を推進



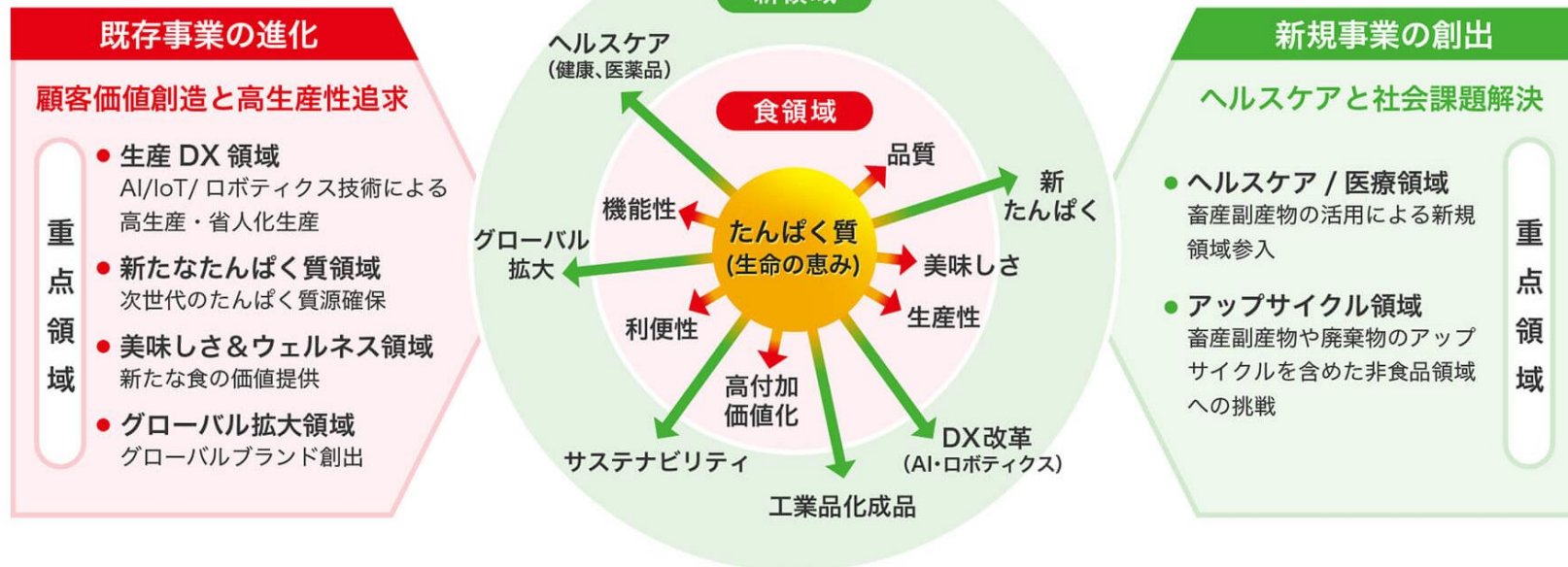
暮らし、集い、  
交流する街



訪れる場所



# 6-5. R&D戦略 Proteininnovation



## 6-6. たんぱく質の可能性を探求

### 細胞性食品の研究開発



代替肉、  
新たんぱく質の開発



### 大阪・関西万博で 新素材による「新時代の食」提案



ソイミート串カツ  
(調理例)



とんこつ風ラーメン  
(調理例)

持続可能なたんぱく質の提供を目指す

## 6-7. 新規事業の創出 ヘルスケア/医療領域



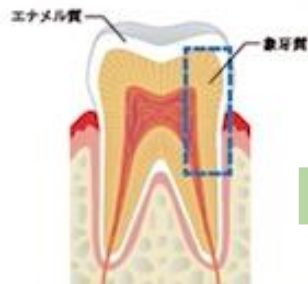
たんばく質を、もっと自由に。  
Nipponham Group Vision 2030

ヘルスケア/医療領域

家畜資源から再生医療素材を開発

牛・豚の歯を活用したペット歯周再生治療

北海道大学発  
スタートアップ  
DeVine社と  
共創



家畜（牛・豚）象牙質



歯周治療用 骨置換型足場材



歯周病により溶けた歯が再生

## 6-8. 新規事業の創出 アップサイクル領域

### アップサイクル

### 家畜資源から再生医療素材を開発

鶏糞を燃焼させたあとの未利用の鶏糞灰を混ぜフィルムを製造

#### 生分解性マルチフィルム



圃場テスト中

#### 消臭袋

##### 鶏糞炭の特性

アルカリ性



多孔質構造

##### 消臭機能を発揮



各種消臭袋へ展開

## 0. はじめに

## 1. 基本情報

## 2. Vision2030・中期経営計画2026

## 3. 事業概要

## 4. 今期の業績予想

## 5. 株主還元

## 6. 中長期的な成長に向けて

- 経営体制の変更
- 加工事業：国内外戦略
- 食肉事業：国内外戦略
- ボールパーク事業
- R&D戦略 Proteininnovation

## 7. まとめ

### 持続的成長を通じた中長期の株主価値向上

ニッポンハムグループは、

- ・ バリューチェーン価値最大化とグローバル強化
- ・ 成長事業（ボールパーク、新規事業など）への戦略投資
- ・ ROIC・ROEを軸とした資本効率経営

を着実に実行することで、

 **持続的な利益成長とキャッシュ創出力を高め  
中長期にわたる安定的かつ継続的な株主還元を実現してまいります**



# たんぱく質を、もっと自由に。

## Nipponham Group Vision 2030

※掲載されている商品画像は、パッケージ変更になる可能性がございます。

### 見通しに関する注意事項

- 本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。
- 実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことは控え下さい。
- 将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、ニッポンハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。